

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C	令和3年(2021年)4月7日
横断的な課題	令和元年東日本台風(台風19号)災害からの復旧・復興					
地域重点政策	農商工観連携した果物を軸とする地域活性化「ながの果物語り」の推進					長野地域振興局
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	果物新商品開発支援事業				電話	026-234-9528(内線3183)
					E-mail	nagachi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	食品産業製造品出荷額が県内1位という長野地域の強みを生かせるよう、果物を使った新商品の開発について、実需者のニーズを踏まえて企画から販売までを支援する。				
	現状と課題	(1)現状(令和元年度の取組) ①果物新商品開発支援チームによる支援 ア 飯綱町ふるさと振興公社の事業拡大に伴う新商品開発意向に対し、県支援策等を紹介。 イ 高山村の特産品開発事業に対し、商品化に向けた助言等を実施。 ②新鮮な食感を残し長期保存可能な新商品開発支援 (2)課題(令和2年度の課題) ①上記(1)①の2案件の当チームによる継続支援。また、支援対象者の掘り起こし及び管内食品メーカー等の開発意欲の喚起。 ②前回の「ながの地域くだものまるごと商談会」でのアンケート結果から、自社商品に係る他の出展者との差別化や訴求力向上。 ③「ながの果物語り」関連事業(くだものまるごと商談会等)の参加事業者(農業者、食品メーカー、菓子店、小売店等)間の効果的な連携促進が必要。				
	内容 (変更後の内容)	(1)果物新商品開発支援チームによる支援 企画から販売まで、事業者等の課題や商品ニーズに応じて当チームが支援。 (2)「ながの果物語り」関連事業の参加事業者の新商品開発支援(果物新商品テストマーケティング支援事業) 「令和2年度ながの地域くだものまるごと商談会」で小規模事業者が開発した新商品(試作品)をバイヤー等のプロ目線で試食してもらい、アンケート結果を踏まえた当該新商品(試作品)の磨き上げの支援を行う。				
事業期間	令和2年4月1日		～	令和3年3月31日		
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	果物新商品開発支援チームによる支援	企画から販売まで、事業者等の課題や商品ニーズに応じて当チームが支援	0			
	果物新商品テストマーケティング支援事業	「令和2年度ながの地域くだものまるごと商談会」で小規模事業者が開発した新商品(試作品)をバイヤー等のプロ目線で試食してもらい、アンケート結果を踏まえた当該新商品(試作品)の磨き上げの支援を行う	20,844	需用費20,844円		
	合計		20,844			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	本事業による新商品開発支援件数		3件	3件	● 達成	
					○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	・高山村の特産品開発事業については、県中小企業振興センターの県産品コーディネーターの助言をもらいながら、ワインコンポートの商品化に向けてチームとして継続的に支援した。 ・果物新商品テストマーケティング支援事業については、試作品の商品化を目指す小規模事業者を局ホームページ等で募集し、上記の高山村の事業を含め、応募のあった3者に対し商品化支援を行った。また、ながの地域くだものまるごと商談会で試作品をバイヤー等に試食してもらい、アンケートを実施。結果をとりまとめ事業者にフィードバックし、今後の商品展開に活かしてもらった。					
今後の方向性	高山村の特産品開発事業については、来年度も引き続き支援を行う。					